

神奈川県循環器病対策推進計画 進捗状況（令和6年度）

脳卒中 【予防】

【予防】 心筋梗塞等の心血管疾患の発症を予防できている	R6.3月改定計画策定時数値	直近公表値	計画期間						達成率	令和11年度（目標値）
			令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年		
B101 *脳血管疾患により救急搬送された患者数	—	15.20 (R5)	—	—	—	—	—	—	—	中間評価時設定
B102 脳血管疾患受療率（入院）	77 (R2)	75 (R5)	—	—	—	—	—	—	12.3%	60.8
B103 脳血管疾患受療率（外来）	32 (R2)	57 (R5)	—	—	—	—	—	—	-463.0%	26.6

（*10万人当たり）

心血管疾患 【予防】

【予防】 心筋梗塞等の心血管疾患の発症を予防できている	R6.3月改定計画策定時数値	直近公表値	計画期間						達成率	令和11年度（目標値）
			令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年		
B101 *虚血性心疾患により救急搬送された患者数	2.2 (R2)	2.17 (R5)	—	—	—	—	—	—	15.0%	2.0
B102 虚血性心疾患受療率（入院）	8 (R2)	7 (R5)	—	—	—	—	—	—	111.1%	7.1
B103 虚血性心疾患受療率（外来）	62 (R2)	36 (R5)	—	—	—	—	—	—	157.6%	45.5
B104 虚血性心疾患全体（入院・外来）（SCR）	—	92.1 (R4)	—	—	—	—	—	—	—	中間評価時設定

（*10万人当たり）

令和6年度の実施・課題

【取組】

○市町村において、特定健診・特定保健指導事業、受診勧奨事業、生活習慣病重症化予防対策、健康相談・普及啓発、地域・市民向け健康対策等の取組を実施した。

○未病改善に向けた「子どもの未病対策応援プログラム」を幼稚園・保育所等で実施し、4,092人が参加。未病改善の考え方を学べる高校生向け教材の電子版を提供し、県内220校に周知した。

○「健康ハートの日」（8/10）「世界脳卒中デー」（10/29）に合わせ、県庁をライトアップした。

○循環器病予防リーフレットや心臓リハビリ啓発チラシを作成し、市町村や医療機関に配布することや、循環器病予防をテーマに講演会を開催し、県民に脳卒中や心臓病の正しい知識の普及啓発を実施した。

○神奈川県脳卒中・心臓病等総合支援センターにて、患者・家族等の相談支援窓口（対面、電話、メール等）を設置した。

○特定健康診査等について、映画館や電車内、YouTubeネット広告や、県内医療機関や行政機関のデジタルサイネージによる放映による普及啓発を行った。

○県域の全ての事業所給食施設（236施設）への健康づくり普及啓発ポスターの配布や、事業所（9施設）の健康・栄養課題に応じて従業員の健康づくりの取組への支援として、講話やイベントブースの設置等を行った。

【課題】

○神奈川県脳卒中・心臓病等総合支援センターの相談支援窓口は設置されたが、県民への周知が不十分であり、利用者数の増加が課題となっている。

○ライトアップやリーフレット配布、講演会開催などの普及啓発活動は一定の効果があるものの、啓発方法を見直し、より幅広い層への普及啓発を図る必要がある。

○健診ハイリスク者や治療中断者等へのアプローチについて、十分な検討や具体的な取組が進められていない。

令和7年度以降の取組について

○引き続き、脳卒中や心臓病の正しい知識の普及啓発を目的に、講演会やセミナー等の県民への啓発を通じて循環器病の発症予防を推進していく。

○神奈川県脳卒中・心臓病等総合支援センターの相談窓口について、県民への周知を強化し、循環器病の早期発見や予防を推進していく。

○新たに、循環器病の発症予防や人工透析への移行防止を目的に、健診ハイリスク者や治療中断者等へのアプローチを行う市町村支援の取組を行っていく。

○これらの取組を通じて、循環器病に関する知識の普及や予防体制の充実を図り、循環器病の発症予防をさらに推進していく。

神奈川県循環器病対策推進計画 進捗状況（令和6年度）

脳卒中 【救護・急性期】

【救護・急性期】できるだけ早く専門医療機関へ搬送される・発症後早期に専門的な治療を受けることができる	R6.3月改定計画策定時数値	直近公表値	計画期間						達成率	令和11年度（目標値）
			令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年		
B201 *脳梗塞に対するt-PAによる血栓溶解法の実施件数（算定回数）	10.0 (R3)	10.90 (R5)							90.8%	12.0
B202 脳梗塞に対するt-PAによる血栓溶解法の実施件数（SCR）	105.8 (R2)	107.0 (R4)							107.0%	100以上
B203 *脳梗塞に対する脳血管内治療（経皮的脳血栓回収療法）の実施件数（算定回数）	— —	16.93 (R5)								中間評価時設定
B204 脳梗塞に対する脳血管内治療（経皮的脳血栓回収療法）の実施件数（SCR）	142.7 (R2)	139.0 (R4)							139.0%	100以上
B205 *くも膜下出血に対する脳動脈瘤クリッピング術の実施件数（算定回数）	8.9 (R3)	7.97 (R5)							83.9%	9.5
B206 くも膜下出血に対する脳動脈瘤クリッピング術の実施件数（SCR）	— —	90.4 (R4)								中間評価時設定
B207 *くも膜下出血に対する脳動脈瘤コイル塞栓術の実施件数（算定回数）	13.4 (R3)	17.81 (R5)							96.8%	18.4
B208 くも膜下出血に対する脳動脈瘤コイル塞栓術の実施件数（SCR）	— —	115.6 (R4)								中間評価時設定

(*10万人当たり)

心血管疾患 【発症時・救護・急性期】

【発症時・救護・急性期】できるだけ早期に疾患に応じた専門的診療が可能な医療機関に到着できる・発症後早期に専門的な治療を開始できる	R6.3月改定計画策定時数値	直近公表値	計画期間						達成率	令和11年度（目標値）
			令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年		
B201 一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者の生存率	— —	13.8% (R5)	12.6%							中間評価時設定
B202 *急性心筋梗塞に対する経皮的冠動脈インターベンションの実施件数（算定回数）	25.2 (R3)	31.35 (R5)							101.8%	30.8
B203 急性心筋梗塞に対する経皮的冠動脈インターベンションの実施件数（SCR）	— —	84.8 (R4)								中間評価時設定
B204 *虚血性心疾患に対する心臓血管外科手術件数（算定回数）	10.5 (R3)	10.81 (R5)							87.9%	12.3

(*10万人当たり)

令和6年度の主な取組・課題

<p>【取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○循環器病予防リーフレットの配布、講演会の開催を通じて、県民が初期症状を正しく理解し、発症時には速やかに救急要請が行えるよう、普及啓発に取り組んだ。 ○県内の循環器領域の手術を行う病院を対象に、各医療機関医師の体制・救急対応の体制等の調査を行った。 ○医師の働き方改革に伴う救急医療体制の影響について、地域別（※）でワーキンググループを実施し情報共有及び意見交換を実施した。 ○消防法に基づく傷病者搬送・受入れ基準に関する連絡調整を実施し、関係機関との協力を図るとともに、メディカルコントロール体制強化のため、指示医師研修や症例検討会を開催した。
<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○リーフレット配布、講演会開催等の普及啓発活動は一定の効果があるものの、啓発方法を見直し、より幅広い層への普及啓発を図る必要がある。 ○救急医療体制の整備に関しては、県として救急全体の課題として捉え、関係部署と協議しながら対策を講じていく必要がある。 ○急性期から回復期・維持期への円滑な移行を実現するには、多職種の連携強化と地域医療機関間の医療連携体制の構築が課題であり、地域の特性を踏まえた取組が必要であるが、十分な検討が進められていない。

令和7年度以降の取組について

<ul style="list-style-type: none"> ○循環器病の予防・初期症状、救急要請及び重症化予防に関する正しい知識を県民へ広めるため、現在の体制で可能な普及啓発活動を推進していく。 ○救急医療体制整備に向けて、救急全体の課題を関係部署と協議しながら対策を講じていく。今後の調査についても、関係部署と協議しながら進めていく。 ○急性期から回復期・慢性期への医療連携を円滑に進めるため、神奈川県脳卒中・心臓病等総合支援センター事業において、急性期病院でありかつ、回復期病院と連携する病院を核として、1つの2次医療圏をブロックとして設定した連絡会を、3ブロック以上構築する。

神奈川県循環器病対策推進計画 進捗状況（令和6年度）

脳卒中 【回復期】

【回復期】身体機能の早期改善のための集中的リハビリテーションを受けることができる	R6.3月改定計画策定時数値	直近公表値	計画期間						達成率	令和11年度（目標値）
			令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年		
B301 *脳卒中患者に対する嚥下訓練の実施件数（急性期）（算定回数）	—	108.9 (R5)								中間評価時設定
B302 脳卒中患者に対する嚥下訓練の実施件数（急性期）（SCR）	146.4 (R2)	160.0 (R4)							160.0%	100以上
B303 *脳卒中患者に対するリハビリテーションの実施件数（算定回数）	103384.3 (R3)	114615.44 (R5)							84.9%	134991.40
B304 脳卒中患者に対するリハビリテーションの実施件数（SCR）	—	71.5 (R4)								中間評価時設定
B305 脳血管疾患退院患者平均在院日数	—	67.7 (R5)	—	—		—	—			中間評価時設定

（*10万人当たり）

心血管疾患 【回復期】

【回復期】合併症や再発予防、在宅復帰のためのリハビリテーションと心身の緩和ケアを受けることができる	R6.3月改定計画策定時数値	直近公表値	計画期間						達成率	令和11年度（目標値）
			令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年		
B301 *入院心血管疾患リハビリテーションの実施件数（算定回数）	4458.4 (R3)	5175.4 (R5)							89.8%	5760.9
B302 入院心血管疾患リハビリテーションの実施件数（SCR）	82.7 (R2)	92.4 (R4)							92.4%	100
B303 *外来心血管疾患リハビリテーションの実施件数（算定回数）	—	1375.93 (R5)								中間評価時設定
B304 外来心血管疾患リハビリテーションの実施件数（SCR）	—	81.1 (R4)								中間評価時設定
B305 虚血性心疾患の退院患者平均在院日数	4.5 (R2)	7.7 (R5)	—	—		—	—		-266.7%	3.3
B306 心血管疾患の退院患者平均在院日数	—	4.7 (R2)	—	—		—	—			中間評価時設定

（*10万人当たり）

令和6年度の主な取組・課題

<p>【取組】 ○心臓リハビリテーション啓発チラシを、市町村や医療機関、健診実施機関等へ配布し、普及啓発を実施した。 ○心臓リハビリテーション設備整備事業では、8医療機関に対して設備整備の補助を実施した。 ○心臓リハビリテーション推進事業では、川崎市が実施する、市内の心臓リハビリテーションのネットワーク支援、地域連携や人材育成を担う強化指定医療機関を指定、連携会議や医療従事者向け講演会の開催等の取組への補助を実施した。 ○注力すべき医療圏の医療機関へのヒアリングや心臓リハビリテーションの実施状況に関する実態調査、心臓リハビリテーション設備整備事業説明会を実施した。 ○医療従事者及び在宅医療・介護従事者を対象に、脳卒中や心臓病、リハビリテーション等の研修を開催した。</p> <p>【課題】 ○心臓リハビリテーションの重要性が十分に認知されていないため、県民や医療、在宅医療・介護従事者に対して啓発を強化していく必要がある。 ○心臓リハビリテーションの実施件数の増加をしていく必要がある。 ○急性期から回復期・維持期の医療の円滑な移行に向けて、多職種連携強化や地域特性に応じた課題を検討していく必要があるが、十分な検討が進められていない。</p>
--

令和7年度以降の取組について

<p>○引き続き、循環器病の合併症・再発予防及びリハビリテーションの普及啓発を行うため、普及啓発を実施していく。 ○引き続き、心臓リハビリテーションの実施医療機関及び実施件数を増やすため、医療機関に対して設備整備に係る経費の補助を行っていく。 ○急性期から回復期・慢性期への医療連携を円滑に進めるため、神奈川県脳卒中・心臓病等総合支援センター事業において、急性期病院と回復期病院の連携を核とした医療連携体制を構築し、1つの2次医療圏をブロックとして設定した連絡会を3ブロック以上設置する。 ○引き続き、医療従事者等に対しては、多職種連携体制の強化や地域特性に応じた医療課題を検討するため、研修・勉強会等を開催し、在宅医療・介護従事者等に対しては、現場での課題やニーズに対応した研修を関係機関と連携して開催する。</p>
--

神奈川県循環器病対策推進計画 進捗状況（令和6年度）

脳卒中 【維持期】

【維持期】生活機能維持・向上のためのリハビリテーションを受けることができる	R6.3月改定計画策定時数値	直近公表値	計画期間						達成率	令和11年度（目標値）
			令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年		
B401 *脳卒中患者に対するリハビリテーションの実施件数（算定回数）【再掲】	103384.3 (R3)	114615.44 (R5)							84.9%	134991.40
B402 脳卒中患者に対するリハビリテーションの実施件数（SCR）【再掲】	— —	71.5 (R4)								中間評価時設定
B403 脳血管疾患退院患者平均在院日数【再掲】	— —	67.7 (R5)	—	—		—	—			中間評価時設定
B404 *脳卒中による入院と同月に摂食機能療法を実施された患者数	— —	1754.07 (R5)								中間評価時設定
B405 在宅等生活の場に復帰した脳血管疾患患者の割合	57.3 (R2)	57.3 (R2)	—	—		—	—		84.9%	67.5
B406 *脳卒中患者における介護連携指導の実施件数（算定回数）	— —	2.01 (R5)								中間評価時設定

(*10万人当たり)

心血管疾患 【慢性期・再発予防】

【慢性期・再発予防】日常生活の場で再発予防ができ、心血管疾患リハビリテーションと心身の緩和ケアを受けることができ、合併症発症時には適切な対応を受けることができる	R6.3月改定計画策定時数値	直近公表値	計画期間						達成率	令和11年度（目標値）
			令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年		
B401 *入院心血管疾患リハビリテーションの実施件数（算定回数）【再掲】	4458.4 (R3)	5175.4 (R5)							89.8%	5760.9
B402 入院心血管疾患リハビリテーションの実施件数（SCR）【再掲】	82.7 (R2)	92.4 (R4)							92.4%	100
B403 *外来心血管疾患リハビリテーションの実施件数（算定回数）【再掲】	— —	1375.93 (R5)								中間評価時設定
B404 外来心血管疾患リハビリテーションの実施件数（SCR）【再掲】	— —	81.1 (R4)								中間評価時設定
B405 虚血性心疾患の退院患者平均在院日数【再掲】	4.5 (R2)	7.7 (R5)	—	—		—	—		-266.7%	3.3
B406 心血管疾患の退院患者平均在院日数【再掲】	— —	4.7 (R2)	—	—		—	—			中間評価時設定
B407 在宅等生活の場に復帰した虚血性心疾患患者の割合	— —	96.6 (R2)	—	—		—	—			中間評価時設定
B408 心血管疾患における介護連携指導の実施件数（算定回数）	— —	31.82 (R5)								中間評価時設定

(*10万人当たり)

令和6年度の主な取組・課題

<p>【取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○心臓リハビリテーション啓発チラシを、市町村や医療機関、健診実施機関等へ配布し、普及啓発を実施した。 ○心臓リハビリテーション設備整備事業では、8医療機関に対して設備整備の補助を実施した。 ○心臓リハビリテーション推進事業では、川崎市が実施する、市内の心臓リハビリテーションのネットワーク支援、地域連携や人材育成を担う強化指定医療機関を指定、連携会議や医療従事者向け講演会の開催等の取組への補助を実施した。 ○注力すべき医療圏の医療機関へのヒアリングや心臓リハビリテーションの実施状況に関する実態調査、心臓リハビリテーション設備整備事業説明会を実施した。 ○医療従事者及び在宅医療・介護従事者を対象に、脳卒中や心臓病、リハビリテーション等の研修を開催した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○心臓リハビリテーションの重要性が十分に認知されていないため、県民や医療、在宅医療・介護従事者に対して啓発を強化していく必要がある。 ○心臓リハビリテーションの実施件数の増加をしていく必要がある。 ○急性期から回復期・維持期の医療の円滑な移行に向けて、多職種連携強化や地域特性に応じた課題を検討していく必要があるが、十分な検討が進められていない。 ○治療と仕事の両立や復職・就労支援の推進に向けて、推進する事業所等を増やし、より多くの患者や家族が相談しやすい体制を整備する必要がある。
--

令和7年度以降の取組について

<ul style="list-style-type: none"> ○引き続き、循環器病の合併症・再発予防及びリハビリテーションの普及啓発を行うため、普及啓発を実施していく。 ○引き続き、心臓リハビリテーションの実施医療機関及び実施件数を増やすため、医療機関に対して設備整備に係る経費の補助を行っていく。 ○引き続き、治療と仕事の両立や復職・就労支援の推進に向けて「かながわ治療と仕事の両立推進企業認定事業」を周知していく。 ○関係機関と連携しながら、引き続き、治療と仕事の両立や復職・就労支援に関する相談支援を行っていく。 ○急性期から回復期・慢性期への医療連携を円滑に進めるため、神奈川県脳卒中・心臓病等総合支援センター事業において、急性期病院と回復期病院の連携を核とした医療連携体制を構築し、1つの2次医療圏をブロックとして設定した連絡会を3ブロック以上設置する。 ○引き続き、医療従事者等に対しては、多職種連携体制の強化や地域特性に応じた医療課題を検討するため、研修・勉強会等を開催し、在宅医療・介護従事者等に対しては、現場での課題やニーズに対応した研修を関係機関と連携して開催する。

神奈川県循環器病対策推進計画 進捗状況（令和6年度）

脳卒中 【最終目標】

【最終目標】健康寿命の延伸、循環器病の年齢調整死亡率の減少及びQOLの向上	R6.3月改定計画策定時数値	直近公表値	計画期間						達成率	令和11年度（目標値）
			令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年		
A101	脳血管疾患の年齢調整死亡率（男）	82.1 (R2)	82.1 (R2)	—	—	—	—	—	0.0%	66.5
A102	脳血管疾患の年齢調整死亡率（女）	49.6 (R2)	49.6 (R2)	—	—	—	—	—	0.0%	40.2
A103	脳卒中標準化死亡比（全体男）	92.6 (H25-H29)	88.3 (H30-R4)	—	—	—	—	—	172.0%	90.1
A104	脳卒中標準化死亡比（全体女）	91.1 (H25-H29)	88.4 (H30-R4)	—	—	—	—	—	30.7%	82.3
A105	脳卒中標準化死亡比（脳梗塞男）	101.8 (H25-H29)	84.9 (H30-R4)	—	—	—	—	—	469.4%	98.2
A106	脳卒中標準化死亡比（脳梗塞女）	100.2 (H25-H29)	83.8 (H30-R4)	—	—	—	—	—	256.3%	93.8
A107	脳卒中標準化死亡比（脳出血男）	88.8 (H25-H29)	96.7 (H30-R4)	—	—	—	—	—	-232.4%	85.4
A108	脳卒中標準化死亡比（脳出血女）	87.8 (H25-H29)	98.9 (H30-R4)	—	—	—	—	—	-103.7%	77.1

心血管疾患 【最終目標】

【最終目標】健康寿命の延伸、循環器病の年齢調整死亡率の減少及びQOLの向上	R6.3月改定計画策定時数値	直近公表値	計画期間						達成率	令和11年度（目標値）
			令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年		
A101	心疾患の年齢調整死亡率（男）	189.9 (R2)	189.9 (R2)	—	—	—	—	—	0.0%	153.8
A102	心疾患の年齢調整死亡率（女）	98.8 (R2)	98.8 (R2)	—	—	—	—	—	0.0%	80.0
A103	急性心筋梗塞の年齢調整死亡率（男）	28.7 (R2)	28.7 (R2)	—	—	—	—	—	0.0%	23.2
A104	急性心筋梗塞の年齢調整死亡率（女）	9.3 (R2)	9.3 (R2)	—	—	—	—	—	0.0%	7.5
A105	心疾患標準化死亡比（全体男）	96.6 (H25-H29)	102 (H30-R4)	—	—	—	—	—	-44.6%	84.5
A106	心疾患標準化死亡比（全体女）	89.4 (H25-H29)	90.2 (H30-R4)	—	—	—	—	—	-25.0%	86.2
A107	心疾患標準化死亡比（急性心筋梗塞 男）	98.2 (H25-H29)	95 (H30-R4)	—	—	—	—	—	80.0%	94.2
A108	心疾患標準化死亡比（急性心筋梗塞 女）	78.6 (H25-H29)	70.6 (H30-R4)	—	—	—	—	—	57.6%	64.7
A109	心疾患標準化死亡比（心不全男）	142.3 (H25-H29)	149.7 (H30-R4)	—	—	—	—	—	-17.5%	100.0
A110	心疾患標準化死亡比（心不全女）	106.9 (H25-H29)	108.3 (H30-R4)	—	—	—	—	—	-9.9%	92.8

共通 【最終目標】

【最終目標】健康寿命の延伸、循環器病の年齢調整死亡率の減少及びQOLの向上	R6.3月改定計画策定時数値	直近公表値	計画期間						達成率	令和11年度（目標値）
			令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年		
脳 A109 心 A111	健康寿命（男）	73.15 (R1)	73.28 (R4)	—	—	—	—	—	0.13	延伸
脳 A110 心 A112	健康寿命（女）	74.97 (R1)	74.71 (R4)	—	—	—	—	—	-0.26	延伸
脳 A111 心 A113	日常生活に制限のある期間の平均（男）	—	8.31 (R4)	—	—	—	—	—		中間評価時設定
脳 A112 心 A114	日常生活に制限のある期間の平均（女）	—	12.99 (R4)	—	—	—	—	—		中間評価時設定